

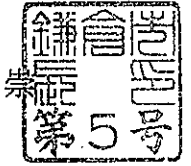
鎌総第548号

令和8年(2026年)5月20日

鎌倉市議会議長

中澤 克之 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2242・2243)

議会受付番号	文書質問第 5 号
質問者	長嶋 竜弘 議員
答弁する者	市長 (文化観光部観光課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第 7 条第 3 項の規定に基づく文書質問第 5 号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

令和 7 年度文書質問第 18 号において、江ノ電鎌倉高校前 1 号踏切近隣の混雑の追加対応策を質問した。地域住民の安全確保や生活環境の改善に向けて、添付写真のような防砂ネットの設置や幕等を設置することで、観光客の過度な集中を解消するという方法の提案である。

「状況の改善が見込まれない場合には、地域の自治会とも協議を重ねた上で、更なる対応の検討を進めてまいりたいと考えています」との答弁があった。

その後も改善が見込まれない状況であるが、今後どのようにするのかお考えをお聞きしたい。

2 質問の理由

問題が長期化しており近隣住民のストレスも増大している。抜本的対策が必要なので。

3 答弁を求めるもの

市長

4 答弁

以前ご提案いただきました防砂ネットや幕等を設置（以下「議員提案の施策」という。）することについては、目的とした風景を撮影できなくすることで観光客の過度な集中を解消するという方法として一定の抑制効果が期待できるものと認識しております。しかしながら、鎌倉高校前駅付近の踏切を含む風光明媚な鎌倉の海の景色は地域の住民にとっても大切な財産となっており、住民のみならず鎌倉を訪れる方々にとって悪い印象を与えることも危惧されます。

令和 7 年 10 月から車道や歩道に滞留していた観光客を公園で撮影するよう誘導を開始しており、現時点では、車両、歩行者の通行空間について一定程度確保でき、状況は改善しているものと判断しています。

また、令和 8 年 2 月に江ノ電鎌倉高校前駅の周辺の自治・町内会に対して実施したアンケートでは、「踏切での撮影を妨げるための横断幕の設置などの施策について望まれる方」が 33.7%、「現在の施策を継続希望する方」が 45.1%と、地元住民の方々の間でも意見が分かれる結果でした。

そのため、今後、住民の安全安心な暮らしが維持されることを前提に、関係機関と協力しながら、更なる対応策として議員提案の施策を含め、周辺の自治・町内会の方々のご意見やご要望を踏まえながら、多角的な視点を持って研究してまいります。